



良心的な医療

新年明けましておめでとうございます。

良心的な医療って何だろう？ 私は学生の頃より「良心的な医療」を求め、医師免許を取得してよりずっと「良心的な医療」を為したいと考えてきました。永原診療会がモットーとする「暮らしを支える医療を創る」は単に、診察をして診断を付け、治療をするという診療行為のみを医療とするのではなく、医療を通して暮らしを支える、社会を創ることを目指すということです。この中にこそ、「良心的な医療」があるのだろうと考えています。そして、「全員参加の医療」。医療従事者が提供することだけが医療ではなく、皆さんが家族をはじめ隣人、近所の人、友人知人、道行く人、全ての人の健康を気遣い、健康を害する人あれば医療に繋ぐ、これも医療と考えます。「良心的な医療」への道はまだ半ば、今年も皆さんとともに「良心的な医療」を求めていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

びーぶる



(撮影 乙牧和宏)

第三七六号

二〇二六年一月一日

「暮らしを支える医療介護を創る」

(医) 永原診療会

京都市上京区千本五辻上る ☎461-0636

制作 びーぶる編集部 vivreoffice@gmail.com

(医) 永原診療会 常務理事 永原弘毅



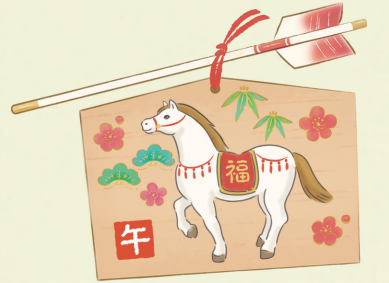
永原診療会の理事長でもある父が海外旅行先で脳梗塞を発症してから九十一年が過ぎました。右半身麻痺と失語症という障害を抱えつつ、介護サービスを利用して自宅で機嫌よく元気に暮らしています。この数年、父、母を中心に孫や親せきまで含めたファミリーで「家族旅行」に出掛けています。これまでに「長崎」「富士山麓」「奄美大島」「知床」「信州」などを訪れ、美しい景色や美味しいものを楽しんできました。小学生から九十歳代まで十名を超える交通手段の調整、移動先や宿泊先のバリアフリー対応の確認など準備は大切ですが「一緒に楽しもう、その為に知恵を絞ろう」という気持ちがあれば「障害があってもどこでもいける」と実感しています。

「人生には必ず終わりが来る」ということで不謹慎かもしれませんが「冥途の土産ツアー」と名付けました。

今年も「素敵な冥途の土産」を手に入れられるよう積極果敢に日々を送りたいと思っています。皆さんそれぞれにとって二〇二六年が素敵な思い出がたくさんできる年になりますように。

職員に聞きました！

今年の抱負は？ 2026



「雲外蒼天」

還暦間近…日々精一杯生き、後に幸多い人生になるよう《雲外蒼天》を心に刻み、一年頑張りたいです。

宮岸 克彦 (自在館嬉楽家 ドライバー)

「体力を…つけたい」

年とともに体力が落ち、趣味のサッカーでも走れない日々が…。休みの日に2時間歩いてますが、その間に少しでも走る時間もつくり、体力アップを目指します。

山田 実 (居宅介護支援事業所まる 介護支援専門員)

「体重減が、目標です」

年々体重が増え続け、学生時代より15キロほど太りました。水泳や筋トレ、ウォーキングで、まず5キロ減が目標です。

渡邊 敦史 (自在館ぼたんぼこ スタッフ)

「京都市内を観光」

京都に越して丸2年。以前は毎年のように京都旅行で観光してたのに不思議と住んでしまえば何処にも行かず…今年は観光するぞ！

黒川 留奈 (訪問看護ステーションまる 看護師)

「旅とワインと手話」

今年は観光に行き、美味しいもの、美味しいお酒やワインを飲み歩きたいなあと思っています。また、現在勉強中の手話を上達できるようになりたいです。

的場 裕之 (自在館嬉楽家 ドライバー 介護福祉士)

「メモ日記を始める」

簡単な日記を毎日付けることに挑戦します。改めたい事や感謝の出来事、体調や食事内容の反省も簡単にメモ。これで健康・能力・意欲がUPします様に。

法旨 真奈美 (自在館嬉楽家 スタッフ)

「花のある暮らし」

花にはストレスを緩和し、リラックスできる癒し効果があるそうで、今年は家に花を飾り、ニコニコ顔で過ごします。

河合 かおる (千本診療所 医療事務)

「お菓子を手作り」

コロナ禍にしていたスコーンやケーキをまた作りたいです。時間に追われる毎日の中でも、心にゆとりが持てるように過ごしたいです！

西村 千恵美 (自在館嬉楽家 スタッフ)

「今年は日帰り滝めぐりに挑戦！」

マイナスイオン全身に浴びて、心も身体もリフレッシュ！いくつ行けるかなあ～

稲垣 裕佳子 (元氣道場 スタッフ)

↓↓去年の抱負、どうでした？ ↓↓

「心と体の ほぐし屋さんになりたい！」

⇒念願のボディセラピストに見事合格できました！
花川 佐奈恵 (訪問看護ステーションまる 看護師)

「解剖学マスターになる！」

⇒「マスターまでもう一步！頑張ります！」
八木 美乃里 (訪問看護ステーションまる 看護師)

「ドンドン攻める人生を！」

⇒万博事業参加で沢山の方々と交流できました！
西口 康弘 (自在館嬉楽家 ドライバー)

「日本語以外の言語をマスター！」

⇒語学習得は無理でしたが、あこがれの地に旅ができていい思い出が沢山できました！
加納 靖子 (自在館ぼたんぼこ スタッフ)



2026「昨年を振り返って～新しい年へ」

職員一同、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

◆通所介護自在館嬉楽家

マネージャー 田中 さわこ



この原稿を書くにあたって、この一年「私たちは何をしてきただろう」「何が出来て、何が出来なかっただろう」「何がしたかっただろう」と考えます。
大切な何かを見送ってはいなかったか、大切な何かを目を逸らすことはなかったか、反省と共に振り返っています。
明日という日は、誰であれ全ての人が、新しいまっさらな一日に新しい歴史を刻む一歩なのですから、その一歩を大切に噛み締めつつ、色どりの時間を一緒に創っていかれたらと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

◆千本診療所

マネージャー 相羽 栄美子



新年あけましておめでとうございませう。昨年は、久しぶりにホームページを新しくするという楽しい出来事がありました。撮影では、職員はもちろん、患者さんや利用者さんにも温かくご協力いただき、本当にありがとうございました。皆さんの日常の雰囲気や素敵なページになったと思います。ぜひのぞいてみてくださいね。

◆自在館たんぼこ

マネージャー 大平 寛子



何事にもご興味をお持ちで活動的な入居者様から様々な相談をお受けする中で、期待を上回るプランを提供できるようなお手伝いをしています。
プランを考えているうちに、知らなかつた事が沢山ある事に気付くきっかけにもなりました。今年も入居者様とのコミュニケーションに幸せを感じ一年になったらと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

◆訪問看護ステーションまる

マネージャー 谷 亜紀子



訪問看護ステーションまるでは、今年から利用者様のお誕生日に合わせ、ささやかなバースデーカードを送りしています。受け取られる方の表情は様々で、日常とは少し違う会話のきっかけや潤いになっていければ良いなと思います。また、専門の研修を受けた看護師が、精神科の医師からのご依頼を受けて訪問できるようにになりました。これからも幅広く活動できるように取り組んでいきたいと思っています。

◆居宅介護支援事業所まる

マネージャー・在宅連携室室長 三宅 早知子



あけましておめでとうございませう。私たち『居宅まる』が一番大切にしたいのは、「傾聴と共感」の姿勢です。私たちは、ただサービスを提供するだけでなく、皆様の「意思」や「声」にしっかりと耳を傾け、その想いや願い、不安に心から寄り添うことを最も大切にしたいと考えております。

新しい職員も増え、心新たに、より一層相談しやすい事業所として頑張つてまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

◆総務部

マネージャー・在宅連携室(千本) 松村 恵美



昨年は例年より早くインフルエンザが流行し、地域全体が落ち着かない雰囲気でのスタートとなりましたが、そのような状況下でも在宅医療の重要性はより強く感じられる一年でした。

在宅連携室は、訪問診療をご希望される患者様やご家族の声を、医師・看護師へつなぐ役割を担っています。患者様の状況を丁寧に聞き、診療を、より安心して受けて頂けるよう、事前の情報共有に努めています。総務部としての業務、在宅連携室としての業務、どちらも医療法人を支える大切な仕事です。今年も、住み慣れた場所で安心して過ごしていただけるよう、地域の皆様に寄り添いながら、よりよい在宅医療の実現に向けて努めてまいります。



お年玉クイズ

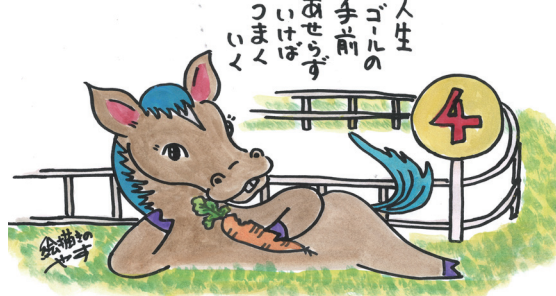
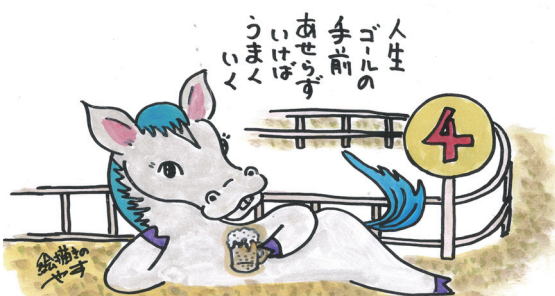


まちがいさがし



A

B



左のイラスト画像Aと画像Bを見比べて、3箇所の間違いを探してください。

正解者の中から、抽選で10名様にプレゼントを差し上げます。
別紙の応募用紙に3箇所の間違いを『Bのイラスト』の中に○印を書いてご応募下さい。
千本診療所・浄福寺診療所・自在館嬉楽家・自在館たんぼこに応募箱をそれぞれ設置しております。
締切は1月末日です。ご応募お待ちしております！
※当選者の方には直接ご連絡申し上げます。